

# 暮らしのたより

10月 - 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

## 10月の健康だより

☎ 保健婦人センター 64-8992

### ☆乳児相談

該当児 平成元年12月と2年6月生まれ

### ☆離乳食講習会

該当者 生後2~5ヵ月の赤ちゃんを持つ母親や祖母

### ☆1歳6ヵ月児健康審査

該当児 平成元年3月生まれ

### ☆むし歯予防教室

該当児 2歳・3歳の幼児

### ☆3歳児健康審査

該当児 昭和62年9月生まれ

★日時、会場は健康カレンダーをごらんください。

### 平成3年度全国高校総体

## 「バドミントン」ポスター募集

☎ 文化体育課 内線 2726

全国高校総体実行委員会は、平成3年8月に本市で開催される「バドミントン競技」大会ポスターを募集します。

資格 市内の中・高校生

規格 ・作品は未発表のもので、B2判のケント紙を縦長に使用すること。  
・色彩材料はポスターカラーか水彩絵の具とします。

作品点数 一人2点まで。

応募方法 作品の裏面に学校名、学年、氏名、性別、意図を記入のこと。

申し込み 11月30日までに、学校ごとに作品を取りまとめて申し込んでください。

## 犬、猫の引き取り日

☎ 環境衛生課 内線 2432

飼えなくなった犬、猫の引き取りは各会場15分です。当日は愛犬手帳をお持ちください。なお、飼えなくなって出した犬、猫はお返しできませんので御注意ください。また、野良猫の捕獲、引き取りはいたしません。

◇10月5日(金)、19日(金)

田子浦公民館9:00 富士公民館9:30

◇10月12日(金)、26日(金)

吉永公民館 9:00、市役所西口9:30

広見公民館10:00、大淵公民館10:30

鷹岡公民館12:00

## 10月の歩く会

☎ 文化体育課 内線 2723

とき 10月21日 雨天は28日

ところ 身延山

集合 富士駅改札前 9:10

コース 富士駅⇄身延駅~身延山 行程約9km

持ち物 弁当、水筒、雨具など

問い合わせ

事務局(桑原方) ☎52-2764

## 民話テレホンサービス

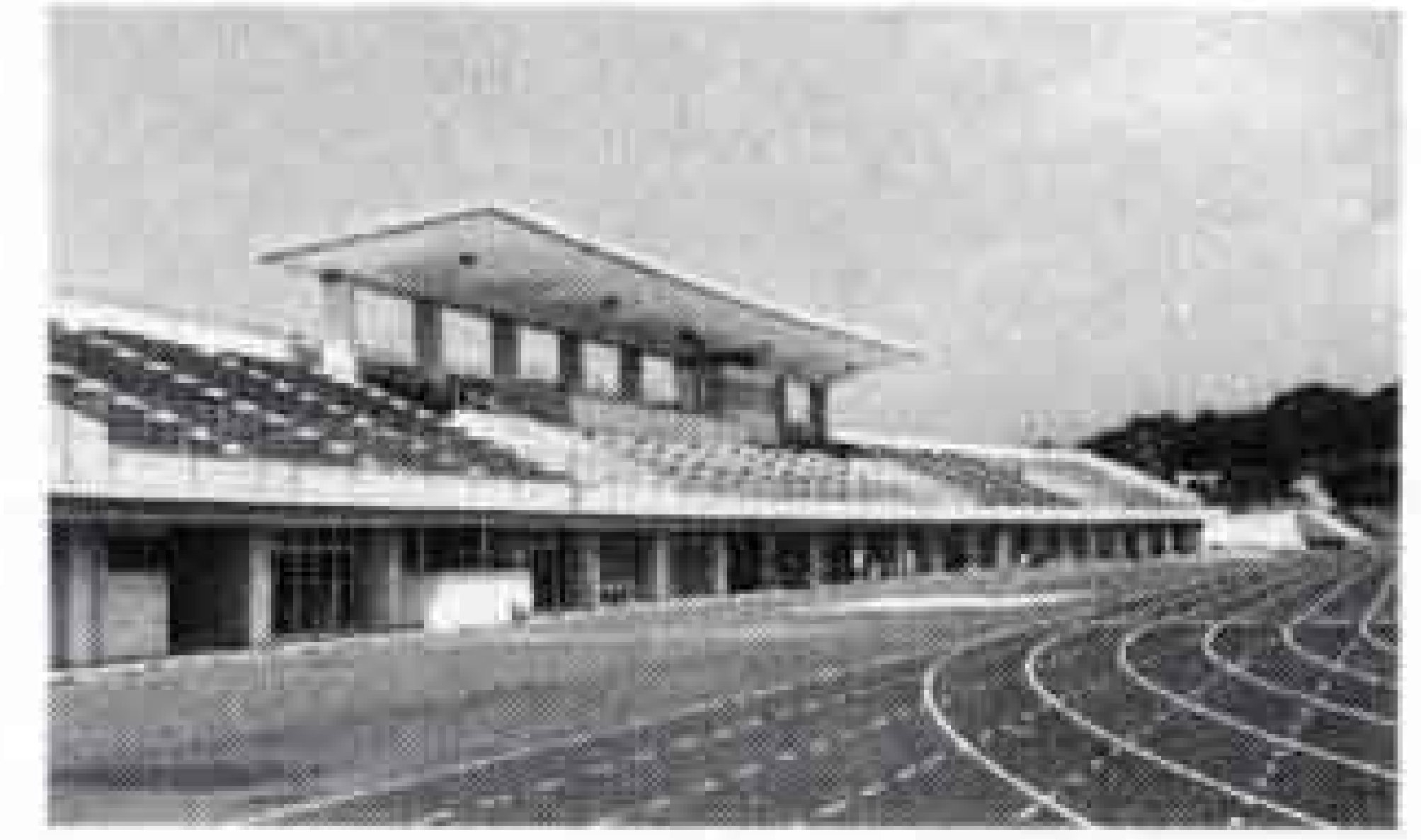
# ☎53-1111

9/26~10/7

清勇橋の川天狗 吉原東中

## 第2種公認陸上競技場完成記念 体力づくり市民大会

☎ 文化体育課 内線 2723



とき 10月10日 8:00~13:30

ところ 富士総合運動公園

◆陸上競技場 ・高野 進さん(400

m日本記録保持者)の試走ほか

・リレーカーニバル(小学校男女、

中学校男子、女子、高校一般男子、

女子400mリレー)・地区、家族対

抗リレー ・100m走(先着100人)

・走り幅跳び(先着50人)

◆庭球場 ・軟式、硬式テニス教室

◆弓道場 ・弓道教室

◆運動広場 ・スポーツ少年団大会

◆無料開放施設 ・温水プール、勤労者体育センター(9:00~16:00)

## 10月の献血

☎ 社会課 内線 2312

日	場所	時間
13日(土)	原田公民館	9:30~12:00
	天間公民館	13:30~15:30
18日(木)	市役所西口	9:30~15:30
21日(日)	市役所北側 (福祉まつり会場)	9:30~15:00
23日(火)	広見ショッピングセンター	9:30~15:30
26日(金)	鷹岡公民館	9:30~15:00
27日(土)	JR富士駅前	10:00~16:00

## 健康コーナー

### 水虫



30年間も水虫に苦しんでいる患者さんもいるほど、水虫は治りにくい病気といわれ、本当に治るのだろうか、と疑う人さえあります。しかし水虫は根気よく治療さえすれば必ず治ります。

水虫は虫ではなく<sup>はくせんきん</sup>白癬菌というカビの一種による皮膚感染症です。モチなどにはえるカビの類で、細菌よりやや大きく、皮膚の角質(あかとして落ちる部分)をえさとし、暖かくて湿度の高いところで成長します。

水虫は大きく分けて、三通りに分けられます。

**指間型**=指の間が白くふやけたり、むけたりしてただれる。非常にかゆい。

**小水疱型**=足の裏や指の腹の部分などに小さな水ぶくれがたくさんでき、それが破れて皮がむけるとかゆくなる。

**角化型**=足の裏、とくに体重のかかる部位の皮膚がぶ厚くなり、しわに沿ってひび割れてくる。最も重症にもかかわらず、症状としては痛くもかゆくもない。

水虫の診断は患部の皮膚をとり、顕微鏡で見つけられます。指間型や小水疱型の治療には、塗り薬を根気よく塗れば、ほぼ2・3か月で治ります。角

化型は内服薬が用いられます。

水虫は治らないと決めつけている人は治療を怠っているにほかならないといえます。家族や周りの人に感染させることのないよう、適切な治療を根気よく続けましょう。

(富士市医師会)

## レター通信

日焼けは、紫外線によるやけど、急性の皮膚の炎症です。外出するときは、帽子やパラソル、長袖のシャツなど、日よけをすることを心掛けましょう。